

吉田 稔 筆

平成20年4月 No. 85

●編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

住みよい町づくりのために

＝ 地域懇談会開催 ＝

平成19年9月2日、平成20年1月20日、2月3日と地域を3ブロックに分け、地域懇談会を開催しました。町会・自治会長及び役員、民生委員、健康づくり推進員、ボランティア等の方々に参加していただき、活発な意見交換を行いました。

懇談会では、「町全体が高齢化していく中で、この地域でも起きている老人の孤独死、どう対応出来るのか」とか「お年寄り家族のゴミ出し、どのようなお手伝い出来るのか」など、さまざまな問題が出されました。

少子高齢化が進む中、新しい町づくりが求められています。地域住民が主体となって、みんなで助け合い支え合って、誰もが安心して暮らせる町づくりをしていかなくてはなりません。

住民同士が挨拶を交わし、助け合い支え合う向う三軒両隣の付き合いのある地域づくりを目標に皆さんのご

理解とご協力で住みよい町づくりを進めていきたいと思っています。
地区社協部 渡辺利夫



新しい町づくりのために真剣な討議

平成20年度総会日時決定！

平成20年度増尾地域ふるさと協議会総会を下記の通り開催いたします。

日時 平成20年5月18日(日) 午後1時30分より
場所 増尾近隣センター



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

増尾東映自治会

我が増尾東映自治会は、40数年前に南傾斜の日当たりの良い、時々沢の地に東映第一団地として建設され、170世帯の方が各方面から入居されました。

自治会が結成され、上下水道からU字溝までのインフラ整備、さらに集会所の建設など諸先輩のご苦労により今日があるものと思います。

周囲には、ニッカウエスキー柏工場、ゴルフ場、また丘陵にはスギやシイの林があり、ときにはバードウォッチングなどを行っている方も見かけます。

自治会の活動としては、前年度までは、バス旅行などを催してきましたが、少子高齢化で参加者も少

なくなり、またお世話する役員の方も身体がついていけないということで、今年度は、集会所において初めての新年会を催したところ、大勢の方に参加していただき、盛会に終わりました。

集会所は、お花、お茶、将棋、囲碁など多くのサークルが利用され、自治会の中の社交の場として活況を見せています。

自治会として、防犯防災の活動が不十分なので、高齢化の進む中でどんな体制がよいのか検討していきたいと思っています。

会長 佐藤正義



老いも若きも大ハッスル 今年も大盛況！ 芸能発表大会

地域の皆さんに親交を深めていただくための恒例の芸能発表大会を、3月2日に増尾近隣センター体育室で開催しました。

今年は例年にも増して出演希望者が多く、受付初日で申し込みを締め切るほどの盛況。小学生から超高齢者までの55組、187名の方々が参加されました。

カラオケ、フラダンス、日本舞踊……日頃の練習の成果を存分に発揮し、熱唱、熱演。おばあちゃんも舞台衣装で着飾ってフラダンス。場内からの大声援は一流芸能人顔負け。弁当持参での参観者、応援団で会場は満員。歓声、爆笑が渦巻く楽しい一日でした。

地区社協部 渡辺利夫



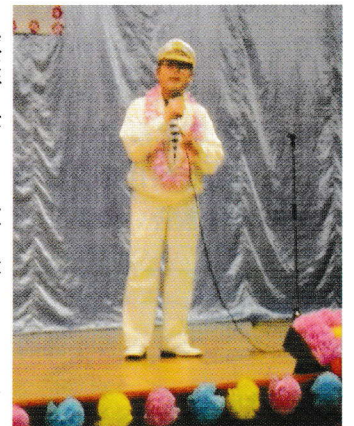
受付で血圧測定。やっぱりチョット気になるね



踊りもいいけど、揃いの着物が抜群でしょう



みんな喜んで。今日の出来最高！



衣装が決まると歌も乗るんだよね



息もぴったり、魅惑のデュエット



舞台ばかりか客席にまで出て大熱演

年末の防犯パトロールを実施

夜間の街頭犯罪が多発する歳末、恒例となった夜間防犯パトロールを平成19年12月27日に柏市防犯交通安全組合増尾支部と増尾地域ふるさと協議会防犯防災部の共催で実施しました。

増尾駅前交番に集合した参加者75名は、警察官から地域内の犯罪状況や連絡事項などを聞き、新柏方面、増尾方面、逆井方面の三方向に分かれ、夜間パトロールを行いました。

防犯防災部 友野忠義



お巡りさんと一緒に、いざ夜間パトロールに出陣！



こんな暗い道とても一人じゃ……

環境フェア展を開催 ベテラン主婦も小学生も

“見てみよう！ やってみよう！”をキャッチフレーズに、平成19年12月8日から1週間、増尾近隣センターのロビーにおいて、増尾地域ふるさと協議会環境部、消費生活コーディネーター、ごみ減量推進協議会の共催で環境フェアを開催しました。

パネル展や体験コーナーに、ベテランの主婦から若いカップル、小中学生までたくさんの方が見えました。

自信満々で臨んだごみ分別のコーナーでは「エー、どうして？」の声が続出。また、指編みタワシに一生懸命な男の子の姿にはベテラン主婦たちの温かい眼差しが注がれていました。人気のクイズには149通の解答が寄せられました。

2階会場のエコ・クッキングには14名が参加。とくにお茶殻で作ったふりかけは、温かいご飯やおむすびに最高と好評でした。

環境部 大久保興一

まちじまん

ハーモニカ奏者チャンピオン

サンパセオ新柏自治会 藪谷幸男さん

平成5年9月、南ドイツで行われたワールドハーモニカチャンピオンシップ複音部門で第一位を獲得されました。本業は土地家屋調査士。仕事の合間に演奏活動を続けていますが、あくまでもアマチュアとのこと。各地で演奏会を催されていますので、お聴きになった方も多いかも。世界一の音色に魅了されます。

増尾近隣センターで、月1回ハーモニカ教室を始められましたので、興味のある方は覗かれたらいかが。



柏警察署長より加賀町会へ感謝状

平成20年1月23日、町内パトロールなど防犯防災活動を活発に行っている加賀町会に柏警察署長より感謝状が贈られました。

加賀町会が防犯パトロールを始めたのは4年前です。当時、改選で新しく選ばれた役員は、アンケート調査の実施で「安心、安全な町づくり」を望んでいる住民が多いことを知り、さっそく役員による町内巡回を始めました。それが1か月後には住民参加のパトロールにと発展し、平成19年には延べ8000人の住民が参加するまでにりました。

加賀町会自主防災会副会長の斉藤忠蔵さんは「防犯パトロールにより町内の犯罪が減りました。これも住民の力によるものです」と語っています。



柏警察署での感謝状授与式にて

ふるさと増尾 訪ね歩き

— 法林寺 —

増尾近隣センターから柏方面に向かい名戸ヶ谷信号を左折すると、すぐ左側に大きなイチヨウの木が目に入る。

本堂前の大イチヨウは、昭和41年4月1日柏市指定の文化財に指定された。伝説によると650年程前に、旅の尼が「何のお礼も出来ないが」と、置いていったイチヨウの実から芽が出て大きくなり、大飢饉の時、村人はこの実で飢えを凌いだと言い伝えられている。 (増尾ダイヤモンドクラブ資料参考)



村人の飢えを救った大イチヨウ

奉仕活動を続けて26年

毎日早朝ウォーキングをしているが、週1、2回廣幡八幡宮に立ち寄ってお参りをする。そこでお見かけするのが、黙々と清掃をする宮司さんと三人の男性の姿。

落ち葉のない参道、ホウキの目がついた庭、水洗いされた手水舎。そんな境内で、口をすすぎ、手を洗って社殿に参拝するときのすがすがしさ。こんな気持ちになれるのは、この方達のお陰ではないかと思った。

そんなことがあって、一度お話をと、宮司さんにお願いしてみると、数日後さっそく清掃がすんだ後お集りくだされた。

降っても照っても、朝は4時半から6時過ぎまで、境内、手水舎、参道、および境内、外側道路を清掃されるとのこと。雨や風の日には特に落ち葉が多く、時間がかかって大変という。

この清掃奉仕を、須賀壽一さん(76)は26年、谷内只邦さん(86)は24年、最も新しい鈴木宏さん(70)でも8年続けておられるそう。

その動機を、須賀さんは「参拝のときに、宮司の岩立俊比古さんが一人で清掃しているのを見て、お手伝いしたいと声をかけたのが始まりなんです」とさりげなく話された。また、谷内さんは「体力保持のためウォーキングをしていたので、健康と奉仕を両立出来るのではないかと思います」と笑いながら言われる。

「わたしはね」と鈴木さん「この清掃を10年ほど続けられていたゴルフ仲間の上之蘭さんから誘われたのがきっかけでね……」。その上之蘭さんは1年前に体調を悪くされ、今は清掃奉仕をやめておられるとのこと。

そんな三人に長続きのこつを聞くと「そりゃ宮司さんの人柄ですよ。それに参拝者の皆さんからの感謝の気持ちかな……」と気負いなく答えられた。

お話を聞いて感じたのは、皆さんの奉仕の心の強いことでした。どうぞこれからもお元気で続けください。

神前でそっと三人の健康を祈願して戻りました。



向かって左から岩立宮司と須賀、谷内、鈴木のみなさん